

最優秀賞

優しさは 人を助ける 宝物

芥見小学校

四年 太田 敬仁

〈作品に込めた願い〉

けがをされていて、いたそうにしている子がいました。知らない子だったので、声をかけようか迷いました。でも、その子はこまっていたので、「大丈夫。いっしょに保健室へいこうか。」と言ってみました。その時、「ありがとう。」と言われて、ぼくの心も温かくなりました。勇気を出して声をかけてよかったと思いました。優しさは人と人の心をつなぐすばらしいものです。この優しさの宝物をこれからも大切にしたいと思ってこの標語を作りました。